



伊那市議会9月定例会では22議案と請願・陳情4件、議員提出議案1件が提案され審議を行いました。今定例会に上程された議案等を紹介します。

## 全会一致で可決等された議案等

### (一般案件)

- ◆請負契約の締結(陸上競技場第2種公認更新改修工事)〈可決〉
- ◆市道路線の認定、廃止等2案件〈可決〉
- ◆財産(物品)の取得(電子カルテシステム及び周辺機器)〈可決〉

### (条例案件)

- ◆福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例〈可決〉
- ◆戸別合併処理浄化槽の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例〈可決〉

### (令和2年度決算認定案件)

- ◆一般会計、特別会計6会計、企業会計3会計〈認定等〉

### (令和3年度補正予算案件)

- ◆国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、市営駐車場事業特別会計、公有財産管理活用事業特別会計〈可決〉

### (請願・陳情)

- ◆地域環境を考慮しない太陽光発電施設設置の規制強化を求める陳情〈採択〉
- ◆「出産育児一時金の増額を求める意見書」の提出を求める請願〈採択〉

### (議員提出議案)

- ◆出産育児一時金の増額を求める意見書の提出について〈可決〉

## 賛否の分かれた議案等

議案、委員会結果に賛成…○ 反対…× (なお、原則として議長は採決に加わりません。)

区分	件名	委員会結果	委員会における審査結果に対する各議員の賛否																本会議結果				
			池上直彦	小林眞由美	田畑正敏	馬場毅	原一馬	松澤嘉	三澤俊明	宮原英幸	白鳥敏明	二瓶裕史	野口輝雄	唐澤千明	唐澤稔	宮島良夫	飯島光豊	黒河内浩		柴満喜夫	前田久子	柳川広美	飯島尚幸
令和3年度補正予算案件	一般会計第5回補正予算に対する修正案	—	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	否決
	一般会計第5回補正予算	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	可決
	一般会計第6回補正予算に対する修正案	—	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	否決
	一般会計第6回補正予算	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	可決
請願・陳情	国に対し「75歳以上の医療費窓口負担2割化実施に反対する意見書」の提出を求める陳情	不採択	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	不採択
	上の原区公民館に投票所設置を求める請願	趣旨採択	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	趣旨採択

# 9月定例市議会

## 一般質問から

伊那市議会9月定例会の一般質問は、9月7日、8日、9日の3日間にわたって行われ、19人の議員が質問に立ちました。質問と答弁の主な内容をお知らせします。

唐澤 稔



### スポーツの合宿について

**問** 唐澤稔議員 東ティモールの東京五輪選手団の事前合宿受入れの状況は。

**答** 市長 感染症拡大防止のため、厳しい行動制限があり宿泊場所から練習会場のみ移動だったが、東ティモールに近い自然環境で満足していただいた。幅広い分野で、より一層交流を深めていきたい。

**問** 唐澤稔議員 今後のソフトボールなどの合宿受入れについて市の考えは。

**答** 市長 市内への宿泊等の経済効果や次の長野国体に向けて市民の関心を高めるな

ど一定の効果がある。他の競技も含めて積極的に合宿誘致を行っていききたい。

**問** 唐澤稔議員 ソフトボールの屋内練習場建設の考

**答** 市長 伊那公園の屋内練習場は平成5年にゲートボール場として作られたもので、本格的な練習には向いていない。旧伊那中央清掃センター跡地に屋内運動場を設ける検討を始めている。この中にソフトボールや野球の練習ができる機能を持たせたい。

### 高齢者福祉事業について

**問** 唐澤稔議員 高齢者いきいき健康券の用途の見直しを。

**答** 市長 高齢者の健康増進、介護予防及び低所得、高齢者の通院等による経済的負

担の軽減を目的に交付している。高齢者の外出機会の創出等のため、今後も効果的な用途の見直しを行っていく。

松澤 嘉



### 中心市街地再開発について

**問** 松澤嘉議員 中心市街地再開発について市の考えは。

**答** 市長 通り町に関しては地権者でつくる「再開発ビル建設共同事業体」が国の社会資本整備総合交付金を使い建物を建てる。中心市街地は、商店や行政機関、金融機関、医療機関、駅等交通の結節点の集約している所であり、市街地の維持や活性化のためにも「ぐるっとタクシー」等の事業も始めており経済的支援もしている。

**問** 松澤嘉議員 通り町の看板建築の修繕や新規事業者への補助ができないか。

**答** 市長 看板建築は大変貴重な建物群であることは共有できるが、保全についてはあくまで個人の資産であり、高遠町の「城下町高遠・まちづくり協

定」等のような住民主体の動きが望ましい。町中の発展支援は当面現行制度を活用してもらうが、今後の再開発の状況を見ながら検討、実施していきたい。

### 「5週連続ぶつおしそば三昧」について

**問** 松澤嘉議員 本年の開催は「高遠と今後について」。

**答** 市長 本年の開催は「高遠そば祭り」のみとする。そばが集客の手段として有効であることは確かなので、今後も続けていきたい。「信州そば発祥の地 伊那」のブランドも大切にしたい。地区型のイベントは、今後も開催を希望するが、経済的損失を出さないなど継続可能な方法への転換が必要であり、行政も地域と協力しながら検討していく。

田畑 正敏



### 三峰川サイクリング・ジョギングロードの整備事業について

**問** 田畑正敏議員 コース10kmのうち、安全対策が必要

な桜井地籍600mの整備をお願いしたいが。

**答** 市長 国土交通省との相談の上、景観、自然に配慮しつつ対策に向けた工事の検討を進めていきたい。

**問** 田畑正敏議員 コース周辺一帯を市民の健康増進の拠点にしたかどうか。

**答** 市長 上伊那クリーンセンター周辺エリアを再生可能エネルギーの拠点としても連結しながら、市民の憩いの場所として、更には自転車キーワードにした健康長寿社会の実現に向けた健康づくりの場として活用していきたい。

### ぐるっとタクシーの安定的な運行確保に向けて

**問** 田畑正敏議員 現時点での運行台数と、今後の運行エリア拡大に伴う総運行台数について。

**答** 企画部長 現在の運行台数は4地区8台、運行エリア拡大に伴い全体では6地区12台を予定している。

**問** 田畑正敏議員 ぐるっとタクシーを継続運行する

ための交通事業者への支援、協力体制についてはどうか。

**答** 市長 ぐるっとタクシー、路線バス、一般タクシーが競合するのではなく補完し合う中で、住民の利便性も考慮しながら持続可能な運行体系を構築していく。

柳川 広美



新型コロナウイルスについて

**問** 柳川広美議員 ①誰でもいつでもPCR検査を可能に。②上伊那に臨時医療施設の準備を。南箕輪養護老人ホーム30床が使えるのではないか。③災害時避難所は持病のある子どもに配慮を。④医療機関や介護施設へ事業継続支援補助を。

**答** 市長 ①PCR検査機器導入には県補助がある。県と連携し、抗原簡易キットの配布を行う。帰省する若者への検査補助の対象拡大を検討する。②臨時医療施設の確保は、必要な状況があれば県へ要望する。③小中学校指定避難所は、段ボールベッドやパーティションを必要

な人には使う。指定避難場所への避難が困難である場合は、地区集会所や車、知人宅等への避難を。④必要に応じて支援を検討する。

**問** 柳川広美議員 上伊那の高校再編2次案は、伊南から普通科が無くなる、総合学科高校は進学が不利になる、総合技術高校は専門性が薄まる、高校が5校に減る等の問題がある。地域内への進学率が低いままでは困る。

上伊那の高校再編について

**答** 市長 第2次再編案は、地域の多様な人材の輩出や子ども達の深い学びができる内容。地元で学ぶことを基本に進めて欲しい。

原 一馬



住宅地を通る環状北線計画道路と生活道路について

**問** 原一馬議員 上の原区を通る環状北線と関連する生活道路、地元の要請(分断され

る生活道路、交通が集中する道路の問題点)に対する市の対応について。

**答** 市長 市も地元や関係者と協議しながら進めている。市道34号線感知式信号機の設置は県の公安委員会の判断による。伊那建設事務所と公安委員会で協議中であり、代替案として市道の新設も検討している。地元の強い要望であれば、県及び公安委員会等に対して強く要望していく。

**問** 原一馬議員 上の原幹線に対して中長期的な計画により歩道設置を含めた道路改良工事を進める要望について。

**答** 市長 市道は住宅が連なっており具体的な幅員の計画はされてこなかった。地元との協力で土地を提供いただけの場所があれば待避所の設置も進めていきたい。通学路は、PTA、学校、関係者と現地を歩いて、最も安全な通学路を皆さんと一緒に考えていきたい。

**建設部長** 環状北線との交差点南側について、できるだけ長く計画することを県にお願いしていくが、市道幅幅と歩道確保は市の負担となる。国県事業の関連事業等に対応していきたい。

白鳥 敏明



児童生徒の通学路の安全対策について

**問** 白鳥敏明議員 危険ブロック塀の撤去工事に対する補助制度の延長の考えは。

**答** 市長 所有者自ら安全を確保することが基本。今年度末までの緊急対策の時限的度であり、延長は予定してない。

**問** 白鳥敏明議員 国の通知「通学路における交通安全の更なる確保について」への対応状況は。

**答** 教育次長 各学校・地区からの対策が必要な要望箇所は216か所となり、通学路安全推進会議で情報を共有した。今後、点検等をスケジュールに沿って進めていく。

**問** 白鳥敏明議員 学校ごとの通学路の安全点検は、地域情報共有のために、区長や安協役員等も参加する体制としては。

**答** 教育次長 各学校に区長、安協役員等が参加す

る「より良い教育環境推進協議会」がある。協議会の構成員に違いもあるが、安全点検等の成果が地域と共有されるよう取り組んでいきたい。

**問** 白鳥敏明議員 通学路の対策箇所一覧表の未対策箇所の取組方針は。

**答** 教育次長 未対策箇所は170か所で、用地確保が必要で対策が進まない箇所も含まれている。交通安全指導や路面表示等、有効な安全対策を検討していきたい。

**問** 白鳥敏明議員 合庁西交差点付近の通学路の両側に、グリーンベルトの設置を。

**答** 市長 当該場所は各方面から道路整備の要望を受けているが、地権者の合意が得られず進まない。伊那建設事務所から荒井神社までの全区間の抜本的対策の勉強会を開催する提案がされており、協議していきたい。

飯島 尚幸



「パノラマ伊那市」の充実について

**問** 飯島尚幸議員 伊那市

全域の春夏秋冬自然の景色は素晴らしい。市宣揚のためにもビューポイントの設置を望むが。

**答** 市長 伊那バイパス、伊駒アルプスロードの進展など

があり、市の豊かな自然、田園景観や市街地の町並みなどとの調和が大切である中、新たなビューポイントをPRしていく。

### 中学生の学校登山について

**問** 飯島尚幸議員 先頃、市長は、市総合教育会議の席上、時代に即した学校登山のあり方を考えて欲しい、と教育委員会に検討を求めた。長い伝統があり大変革の提案か、その真意は。

**答** 市長 学校登山は120年余の歴史がある。山に登る苦しさ、不便さ、日頃体験できない自然との接触など後々の人生に生きてくる。必ずしも山の頂上を目指すのではなく、生徒たちの体力に合わせた複数ルートの設定やガイド、看護師、消防士等の同行による安全対策の充実等の検討を求めた。

**問** 飯島尚幸議員 学校登山について、時の校長の一

存で「やらない」との判断が許されるものか。

**答** 教育長 校長の編成する教育課程について教育

委員会は助言、指導する関係にある。学校長とは個別に年3回ほど懇談している。全ての学校長は学校登山の教育的重要性をしっかりと認識している。

唐澤千明



### 伊那市子どもの未来応援事業について

**問** 唐澤千明議員 ①この事業は全ての子どもたちの健やかな育ちを願って、子ども食堂などの活動を支援するもので、7月27日から8月3日の6日間、キッチンカーによる配食を実施したが、事業に関する経費の考え方は。②子ども食堂や地区ボランティア活動に一層の支援を望むが、考えは。

**答** 市長 ①子ども食堂応援事業の中で実施され、市から委託を受けた社会福祉協議会が各店舗に事業を再委託し、委託料の中から支払う。②子ども

が安心して楽しく食事ができる居場所が各地区にあることが必要。自分の店で子ども食堂を希望する人や子どものために何かをしたいと思う皆さんをしっかりと支援したい。

### ドローン活用による取組から学ぶことについて

**問** 唐澤千明議員 伊那市においても公園、観光施設、公共施設などでドローン等の飛行禁止とする条例制定を希望するが考えを。

**答** 市長 都市公園や観光施設は、規定に基づき利用申請の提出を求めている。ドローン飛行禁止条例制定においては、国におけるドローンの活用と安全性を両立させるための国の制度改正や技術革新の動向を見ながら検討していく。

前田久子



### 有害鳥獣対策について

**問** 前田久子議員 ①二ホンザルの被害防止は地域ぐるみでの対策が効果大だが、成功例はあるか。②サル追払いには電気柵が効果的だが、市の補助制度は2戸以上が条件。周辺が遊休農地で小規模であり、家の庭先での被害が多い。個人への補助対象を広げる考えは。③熊対策で鹿や猪用の罠にかかった錯誤捕獲等の場合、学習放獣するが、なぜ放すのか、二度と戻って来ないのか等、疑問の声が多い。熊から市民の命を守る対策は。

**答** 市長 ①横山へ大型檻を設置し、地元の全面的協力により全頭捕獲に成功した例がある。②地域共同が重要。農地が隣接していなくても農家同士でなら対象になる。相談して欲しい。③放獣は県の方針だが、大型獣の危険度が増しているので個体数の調整等、方針を変えるよう、強く申入れを行う。

### 高齢者いきいき健康券の利用拡大について

**問** 前田久子議員 いきいき健康券の利用対象について、高齢者の健康診査、尿漏れパット等を加えられないか。アンケートを取るなど、市民ニーズを把握して欲しい。

**答** 市長 健康券の整備して開設等マニュアルを整備して開設キットを用意している。引き続き職員の周知を図っていききたい。また、段ボールベッドの組立等研修を図っていききたい。

**問** 宮島良夫議員 避難所の運営について、職員の研修を行ったかどうか。

宮島良夫



### 8月豪雨災害の反省から

**問** 宮島良夫議員 避難所象に、尿漏れパットは今年度中に使えるよう検討する。可能な形でアンケートを実施し、来年度予算に活かす。

**答** 市長 水位計等を設置することによって、河川の状況を把握することは大切。伊那市も国県に対し積極的に要望しているところである。そうした情報を得て避難等に役立てて欲しい。

**問** 宮島良夫議員 市民の方から河川に水位計を設置していただけないかと要望があったが。

**答** 市長 水位計等を設置することによって、河川の状況を把握することは大切。伊那市も国県に対し積極的に要望しているところである。そうした情報を得て避難等に役立てて欲しい。

保育現場の問題について

宮島良夫議員 登園受入時の未満児の部屋が大変密で危険ではないかと感じた。現場を見ていただき、対策を考えていただきたい。

市長 担当職員が随時現場を確認し、保育士の話を聞いている。事故事例を全ての園で情報共有して事故防止に努めている。

宮島良夫議員 伊那市は保小連携の取組をしているが、どんな取組をしているか。

教育長 伊那市は幼保小連携委員会を設置し、毎年年間計画を策定して取組を進めている。保育士と教員の相互の参観など園児が小学校生活に上手に入っていくことができるよう取組を進めている。

柴満喜夫



南アルプス日本ジオパーク再認定について

柴満喜夫議員 南アルプスジオパークの再審査に向

けてどのように対応していくか。

市長 協議会では7月に幹事会を開き、8つの指摘事項のうち、事務局体制の強化と基本計画、事業計画の改善について集中協議し、規約改正も想定した調整や計画の見直しを行っている。また、指摘事項の一つであるジオサイトの再整備についても、学術部会で作業を始めている。現在、アクションプランの提出に向けて準備を進めており、再認定を受けるかどうかを含めて今年度中に結論を出したい。

デジタル庁発足について

柴満喜夫議員 デジタル庁発足にどう対応していくか。デジタル課の設置の考えは。

市長 地域情報化計画の中に対応していく。デジタル課については、今後の国の動向を見ながら必要に応じて検討していく。

宮原英幸



投票率向上に向けての施策について

宮原英幸議員 投票率低下が顕著だが、事業外部評価提言後の進捗は。

市長 投票率低下は深く憂慮している。

選挙管理委員長 啓発を続けるも向上に至らない。パソコン、読取機等の導入により事務の効率化は進んだ。投票所統廃合等については、地元意見を聞きながら引き続き検討する。

宮原英幸議員 投票所の統廃合に明確な基準が必要ではないか。共通投票所の設置予定は。

選挙管理委員長 自治省通知を参考にしており、市独自の基準の明文化予定はない。共通投票所は二重投票の防止や、セキュリティ等課題がある。移動投票車は導入検討中である。

宮原英幸議員 教育での主権者意識高揚の点で中学生の議会傍聴はどうか。

教育長 体験的取組は重要。時間的制約はあるが、授業中に議会の映像を見て学ぶ等の工夫は考えられる。

二ホンザル被害の現状と対策について

宮原英幸議員 被害統計の実態はどうか。また、基本的な群れ調査の早急な実施が必要ではないか。

市長 被害実態は数字以上との認識である。他市町村に比べ捕獲数は多いが被害相対も群れ一括捕獲、他の檻の活用など地元や猟友会と知見を集め取り組む。

二瓶裕史



伊那市SDGs未来都市計画について

二瓶裕史議員 大人だけの思いを共有する場が必要であると考えられる。

市長 重要であると考えられる。包括連携を結んでいる三井住友海上火災保険と共同による小学生向けのSDGs特別出張授業を計画している。子どもに向けた情報発信に取り組む。

通学路の安全対策について

二瓶裕史議員 ①境界公民館から伊那東小学校へ向かう市道の安全対策を。②元信濃オリンパス北側のカワチ薬品までの市道について安全対策を。③通学路沿いの空き家対策について、優先的な措置を。

市長 ②地元区、土地改良区との協議を進めていきたい。横断歩道については、地元区と相談しながら公安委員会に要請したい。

建設部長 ①地元区と協議をし、整備していきたい。③今後、「通学路沿いにある空き家」という視点も、特定空家の絞込みについての判断に加えていきたい。

野口輝雄



伊那市独自の光害防止の条例もしくはガイドラインの制定についての提案

野口輝雄議員 箕輪町に照射に対し、現状では規制ができないことについて、①市長の思い

は。②市独自の光害防止の条例がガイドラインが必要ではないか。

**答** 市長 ①夜空は皆のものであり、個人の経営利益のためにサーチライトを照らすことは許されない。早く止めてもらいたい。②光害については、県でサーチライトの使用禁止や改善命令等を盛り込んだ条例の制定を進めているので、今後の伊那市の対応も県の条例に基づいて行うことになるが、市独自の条例等については、この県の条例を精査して検討していく。

**これまでの熊に対する危険防止対策の見直しと今後の熊対策についての提案**

**問** 野口輝雄議員 市内に多

くの熊が出没している現状や西箕輪区長会からの野生動物対策の推進を求める要望書が出されたことを鑑みて、これまでの熊対策として行われてきた学習放獣のあり方を検証し、個体調整の数の調整や、新しい熊対策の方法などを検討する時期ではないか。

**答** 市長 西山地区の熊の個体数は確実に増加している。学習放獣をしても半数はまた無い戻ってくる。学習放獣を推奨

する県の方針の転換を願っている。首長の権限で緊急捕獲ができることをしっかりと使っていきたい。

**飯島光豊**



**国の通学路交通安全確保及び飲酒運転根絶に対する市の緊急対策について**

**問** 飯島光豊議員 ①通学路や飲酒運転根絶の考えは。

②東春近下殿島区土蔵の県道車屋大久保線拡幅歩道工事の継続は。③東春近中組区渡場区の市道中組殿島橋線拡幅や歩道等の表示を。④PTA負担の危険箇所マップ作製費用は、市の予算で負担すべき。

**答** 市長 ①飲酒運転しない機運醸成が必要。③速度抑制、路面標示など可能なものから速やかに実施していく。

**総務部長** ①定期的な啓発と、翌日に支障となる前日飲酒は控えるように指導している。

**建設部長** ②県は今期で工事中断の予定だったが、引き続き工事継続になった。

**教育次長** ①学校や地域からの

要望箇所のうち未対策の箇所が170か所あり、県への報告スケジュールに合わせて対策を検討する。④市の既定予算で対応できるか研究したい。

**本年8月13日からの前線による大雨の災害について**

**問** 飯島光豊議員 ①岡谷市は避難指示の発令が遅れ犠牲者が出たが、伊那市の発令は。

②東春近田原区の水害は、大久保ダムによる内水氾濫。このままでは永久に被害が続くが補償等。③災害時応援協定に基づく(株)キッツの操業時避難所開設は。イモチ病農薬代補償は、状況を見て検討する。

**答** 市長 ①沢渡の水位観測所の水位情報や県の土壤雨量指数で発する。③(株)キッツ操業時は開設できない。

**池上直彦**



**長谷地域内の宿泊施設について**

**問** 池上直彦議員 今後の入野谷の行方について。

**答** 市長 民間への売却は困難であり、現段階ではワーケーションやテレワークを視野に入れ、指定管理者の公募による活用が一番望ましい。

**問** 池上直彦議員 仙流荘の営業再開後の経営状態、施設利用、施設整備等について。

**答** 市長 コロナ禍や長雨の影響により利用者は減少している。山岳観光の拠点としての利便性を更に向上させるため、南ア林道バスの営業所を集約する方向が検討されている。国交省の河川工事が終了すれば駐車場は遥かに広くなる。バスの発着場も仙流荘の玄関近くに移動して、一体とした観光を進める計画であり、登山者の目線で施設改修を考えていきたい。

**長谷地域内の山小屋などについて**

**問** 池上直彦議員 今後の利用状況などについて。

**答** 市長 山小屋は総じてコロナ対策として定員の半数での予約受付を原則としている。天候不順も重なり利用者は減少している。

**問** 池上直彦議員 塩見小屋への専用林道の復旧、登山道の整備について。

**答** 市長 新塩見新道は、登山者の安全のため今後整備して行く。専用林道の復旧は林野庁に要望しており、概略設計ができ予算が付けば目処がつくのではないかとと思う。

**三澤俊明**



**竜東北部地区における隣接町村へのぐるっとタクシーの乗入れについて**

**問** 三澤俊明議員 竜東北部地区(主に福島地区)から生活圏が重なる隣接町村への「ぐるっとタクシー」の僅かな距離の乗入れを。

**答** 市長 各地域からの中心市街地への移動が目的ではない。今時点での運行の中でも同様な要望は出ているが、費用面やタクシー事業者への影響を考慮し、乗入れは行っていない。まずは、伊那市内全域でスタートしてから次のステップを考えたい。

GIGAタブレットのサポート体制について

**問** 三澤俊明議員 落下事故などで破損させてしまった時の修理代の負担は。

**答** 教育次長 不注意や学習活動中に起こった故障は、公費で修理する。明らかに故意に壊した場合は、保護者と相談させていただくケースも出てくる。

**問** 三澤俊明議員 善悪の判断がおぼつかない小学一年生あたりの児童が故意に乱暴に扱い、壊してしまった場合は。

**答** 教育次長 状況を聞いてケースバイケースで対応する。「物を大切にして乱暴に扱わない」といったことは、保護者と学校で連携して児童らに指導していく。



小林 眞由美

保育園の保育環境について

**問** 小林眞由美議員 現在、保育士の不足は生じていないか。男性保育士の雇用状況は。

**答** 保健福祉部長 国の基準より多く保育士を配置しており、現時点で不足はしていませんが、年間を通して随時募集し保育士の確保に努めています。男性保育士は11人います。

**問** 小林眞由美議員 保育士が働きやすい職場づくりを。市長 園長や副園長がメンタルヘルス研修を受け、コミュニケーションの活性化に取り組んでいる。また、自信を持つて仕事に当たることができるようキャリアアップ研修の機会を提供している。合わせて、休暇を取得しやすくするため代替職員のリストを用意している。

**問** 小林眞由美議員 猛暑時に備え、保育園リズム室への冷房設備設置を。保健福祉部長 エアコン設置は考えていないが、今後の高温時対応にはスポットエアコンを検討したい。

**問** 小林眞由美議員 保育園と小中学校との合同避難訓練の今後のあり方は。教育次長 災害発生時、基本的にには保育園、学校それぞれが園児、児童、生徒の安全確保を図り保護者に引き渡すことになる。今後の合同避難訓練につ

いては目的や具体的な取組などを整理し、子どもの命を守ることを大事に関係部局と連携して考えていきたい。



馬場 毅

インフルエンザ予防接種について

**問** 馬場毅議員 12歳未満がコロナワクチンの対象とされない現状では、学校での集団接種を実施してはどうか。

**答** 教育次長 子どものインフルエンザワクチンは任意接種であり、多くの学校ではワクチン接種の有効性を伝える一方、保護者とよく相談して受けるよう案内している。65歳以上の定期接種用のワクチン確保も毎年苦労していると聞いており、学校での集団接種は難しい。

コロナ感染第5波での業者支援を

**問** 馬場毅議員 今議会で示された支援策の対象とならない業種や市民への、今後の支援策の考えは。

**答** 市長 コロナが長引く中で弱者が非常に増えている。また、様々な業種がコロナによる不況の波を大きく受けている。それに対して、市ができることは徹底的にやろうと取組みをしている。

**問** 馬場毅議員 市としてできる支援を種々考えている

一方で、国県の施策は不足しているがどうか。

**答** 市長 国県においても様々な制度を実施しているが、それを知らない皆さんもいる。市としても国県の情報を提供しながら、その支援が届かない人等に配慮をしながら取り組んでいる。

お知らせ

請願・陳情

請願・陳情は、定例会開会前に開催される議会運営委員会前日正午までに提出されたものを、その定例会で原則審査します。

提出いただきました請願・陳情は、定例会本会議で委員会へ付託し審査します。本会議での委員長報告後、採決します。

次回12月定例会審査の受理期限は、11月18日正午です。(期限は、変更となる場合もあります。議会事務局へご確認の上ご提出ください。)

傍聴にお越しくください

9月定例市議会は、のべ67人の方が傍聴されました。市議会は、どなたでも傍聴することができます。お気軽にお越しください。

議会中継

議会中継は、伊那ケーブルテレビ「伊那市チャンネル」で

放送しています。再放送も行っていますので是非ご覧ください。

次回12月定例会の詳しい放送予定は、「市報いな」12月号をご覧ください。

チャンネルは次のとおり。

デジタル 11チャンネル

STB(デジタルチューナー)でご覧になる場合は

デジタルC 511チャンネル

QRコード

議員の写真下にあるQRコードを読み取ると、一般質問の動画が閲覧できます。ご活用ください。

\*「QRコード」は(株)デンソーウェーブの登録商標です。



# 伊那市議会常任委員会の活動

各委員会の関連施設を現地視察してきました!

## 総務文教委員会

総務文教委員会は、総務・文化・スポーツ・教育・防災などを所管する委員会です。

6月22日の総務文教委員会終了後に、当委員会に関係する施設を現地視察しました。

○伊那西小学校

小規模特認校である同校では隣接する林間のなかに「森の教室」といった野外授業専用の教室を兼ね備えており、まさに自然の中で子どもたちが勉強できる仕組みとなっていました。



森の教室

○富原小学校給食施設

新しくピカピカの給食施設を拝見しました。作業性も良さそうです。「ごはん」「おかず」「サラダ」「かえす場所」とわかりやすく表示されており、給食当番の子ど

もたちもしっかりと仕事ができそうです。

○御殿場遺跡

かやぶき屋根の損傷が進んでおり今年度改修予定だそうです。

○歴史博物館

中川村の墓地にあった「守屋貞治」作の石仏が展示されていました。保存状態もよく、とても2000年の歳月を感じさせませんでした。

○ほりでいドーム

張られたばかりの人工芝の緑色と青色があざやかに映えるドームとなって蘇りました。災害時の指定緊急避難場所としても威力を発揮しそうです。



人工芝が張り替えられたほりでいドーム

○市誌編さん室

過去の市誌がぎつしり保管されていました。視察した議員からは、これから作成する市誌は電子書籍も必要ではないかといった意見も出ていました。

## 社会委員会

社会委員会は、生活環境課、市民課、税務課、社会福祉課、福祉相談課、子育て支援課、健康推進課、ワクチン接種対策室を所管します。市民にとっては一番身近な部署です。

6月21日の社会委員会終了後、当委員会に関係する施設の現地視察を行いました。

○福祉まちづくりセンター

複合・複雑化した課題に対応するため、市福祉相談課・伊那市社協・子ども相談室・伊那公証役場の連携を強化した相談支援体制を確認しました。



福祉まちづくりセンターの情報交流コーナー

○新山保育園新園舎建築現場  
令和3年12月完成予定である新山保育園の工事現場にて周辺の環境等を確認しました。

○新山トシボの楽園  
広大なハッチョウトンボ生息地の環境整備事業について確認してきました。



自然豊かなトンボの楽園

○高遠保育園(グレースの森)

信州型自然保育団体に認定され、保育園近くの山で子ども達が安全に遊ぶことができるよう整備が進められていました。



木々に囲まれたグレースの森



経済建設委員会

経済建設委員会は、農林部、商工観光部、建設部、水道部、農業委員会を所管しています。

6月18日の経済建設委員会終了後、所管する施設や工業用地を視察しました。

○小黒原産業適地B区画

6月議会において売却が決まった工業用地です。

売却先のユーキ食品株式会社（Yooki）は、無添加ガラスープや豆板醤をはじめ、数多くの商品を開発販売する中華調味料の国内老舗企業です。第1期として令和4年12月に1650㎡の工場が完成します。

新工場では上伊那地区内で20名の新規雇用がされ、その後も第2期、第3期の工場拡張も計画されており、将来的な雇用創出が期待できます。



小黒原産業適地

○みはらしファーム水車小屋

平成11年に市民から譲り受け、ファーム内に移設・復元されました。水車や内部の機構の老朽化が進んだため、令和2年度に水車の更新と、高機能製粉機を導入して「コイン精米のような手軽さで利用できる製粉所」としてリニューアルしました。

玄そば1キログラムから利用ができ、石やワラ等の除去、磨きから粉にするまでを全自動で行える製粉機を、大勢の皆さんに使ってもらいたいと思います。



水車小屋内の高機能製粉機

道路・戸草ダム問題等特別委員会 視察報告

国土交通省中部地方整備局  
天竜川ダム統合管理事務所へ視察研修実施！

平成21年に作成された天竜川水系河川整備計画において、「戸草ダムは今後の社会・経済情勢等の変化に合わせ建設時期を検討する。」とされてから今に至っています。

最近の台風等は地球温暖化が原因で大型化、凶暴化しています。リスク低減を図るために、上流のダムの治水能力の強化が必要であること、更に水力発電が地球温暖化対策として求められていること、逆に渇水時のリスクも高まってきていること等を踏まえ、戸草ダム建設が必要な社会情勢の変化が起っています。当委員会では戸草ダム建設促進に向けた調査・研究の一環として、今回は8月3日（火）に国土交通省中部地方整備局天竜川ダム統合管理事務所（小渋ダム内）の視察を行いました。



流量調整システムを見学

ここは美和ダム・小渋ダムの放流調整を行い、沢渡や駒ヶ根市下平地区の越水を抑制し、天竜川の流量調整ができる数少ない事務所です。

令和2年7月1日梅雨前線豪雨により三峰川右岸（下県付近）の堤防が欠損し、市道が通行止めとなりました。天竜川上流河川事務所の依頼により応急復旧工事を実施するため、天竜川ダム統合管理事務所では美和ダムからの放流量約毎秒140mを約毎秒30mまで制限し、水位を約1.3m低下させて工事の進捗に寄与したそうです。



水位低減後の三峰川での復旧工事

その事実について、実際に目で見て検証し、今後の活動に役立てたいと思います。